

第一四 汕頭自動車事業擴張 (設備擴張表)

甲、計 畫 明 細

- (一) 事業内容 一、從前ノ事業概況  
バス、トラツク運搬業
- (二) 事務所所在地 中華民國廣東省汕頭市
- (三) 操業年月日 昭和十四年十二月二十八日
- (四) 經營者 株式會社 汕頭大公司 汕頭出張所
- (五) 投資 資 本 額 拾貳萬圓
- (六) 專業設備 備

區 分	棟 數	金 額	備 考
車 庫	一	四二五〇〇〇	借入家屋 汕頭市同益東路一四號
バス待合所	一	七九五〇〇	新築 汕頭市新馬路

學務所及宿舍	計	備 考
一	三	借入家屋 手入費ハ其ノ都度經費ニ計上
	五〇四五〇〇	

機械工具

名 稱	稱 量	數 量	購 入 金 額	備 考
ガレージヤツキ	一	四二〇〇〇		
チェーンブロッツ	一	一五〇〇〇		
足踏 探 ン プ	一	一六〇〇〇		
タンカー充電器	一	四三〇〇〇		
エヤーコンプレッサー	一	五六〇〇〇		
計		一、七二一〇〇		

年 式	名 稱	台 數	購 入 金 額	備 考
二五九九年	トラツク	一	六三二四五〇	
		一	六四八六〇〇	

(八) 專業概 要  
 昭和十四年七月廣東省潮汕地區皇軍ノ占領スル所トナリ從來同地區唯  
 一ノ陸上交通運輸機關タリ汕頭鐵路(汕頭-潮州)ハ皇軍上陸以前  
 ニ敵軍ニ依リ徹底的ニ破壞サレ之ヲ復舊ハ全ク不可能ニテ汕頭及其ノ  
 隣接地域間ノ交通ハ殆ンド杜絶シ鐵道ニ代ルヘキ交通運輸機關ノ整備

區	分員	員數	備	考
事務員	員	四		
整備員	員	一		
修理員	員	一		
運轉手	員	一		
車掌	員	六		
切符發賣係	員	一		
小使	員	一		
計		二五		

(出) 從 業 員

合 計 金一三〇〇三一圓二二錢

年	種	員數	備	考
一九三九年	トツラダ	一	七四五〇	〇〇
一九三七年	トオラドツ	一	五一六七	〇〇
一九三九年	トツラダ	一	九〇〇〇	〇〇
一九四一年	トオラドツ	一	九八六一	七九
一九四一年	トツラダ	一	八九六八	九三
トツラダ	計	七	五三二五八	二二
二五九九年	トヨダバス	一	六五六六	〇〇
〃	ニツサンバス	一	八八〇二	〇〇
〃	〃	一	八八〇二	〇〇
二六〇〇年	トヨダバス	一	七九三九	〇〇
〃	〃	一	七九三九	〇〇
一九四一年	フォードバス	一	九〇〇七	一五
〃	〃	一	九九五一	八五
計		一四	六一三〇七	二二

ハ同地方ノ復興建設、治安維持上一日モ等閑ニ附シ得サルニ鑑ミ弊社ハ軍當局ノ要請ニ基キ昭和十四年十一月不取敢バス三台ヲ配シ汕頭近郊地域ノバス運行ヲ開始セリ、爾來二ケ年有半其ノ間種々ナル障礙アリタルモ其ノ都度軍並關係當局ノ指導援助ニ依リ逐次車輛ノ補充路線ノ延長ヲ行フト共ニ新ニトラツタノ運行ヲモ併セ行ヘリ

昭和十七年四月末現在ニ於ケルバス、トラツタノ運行狀況ハ左ノ如シ

バス(七台)

菴埠線(汕頭-菴埠)一二杆(二台)

起點 汕頭廻瀾橋第一檢問所前

終點 菴埠

就業台數一日二台 七-八往復

彩塘線(汕頭-彩塘)二三杆(一台)

起點 汕頭廻瀾橋第一檢問所前

終點 彩塘 (舊潮汕鐵路車站跡)

就業台數一日一台 二往復

浮洋線(汕頭-浮洋)三四、五杆(一台)

起點 汕頭廻瀾橋第一檢問所前

終點 浮洋 (舊潮汕鐵路車站跡)

就業台數一日一台 二往復

潮州線(汕頭-潮州)四七杆(二台)

起點 汕頭廻瀾橋第一檢問所前

終點 潮州 (舊潮汕鐵路車站跡、檢問所前)

就業台數一日二台 二往復

外稼備車 一台

トラツタ(七台)

汕頭ヲ中心トセル近郊部落間ノ貨物運輸ヲ行フ

三 事業擴張計畫

- (一) 事業内容 従前ト同様
- (二) 事務所在地 従前ト同様
- (三) 豫定時期



昭和十八年十二月  
昭和十八年十二月  
昭和十八年十二月

(四) 所要資金

車庫等擴張改良費	三八〇〇〇・〇〇
新車購入費	七三〇〇〇・〇〇
運轉資金	二〇〇〇〇・〇〇
計	一三〇〇〇〇・〇〇

(五) 設備擴張改良

(1) 車庫等擴張改良

車庫擴張	面積 五〇〇平方米 一平方米單價三〇圓
金	一五、〇〇〇圓
現車庫改造	面積 四〇〇平方米 一平方米單價二五圓
金	一〇、〇〇〇圓

潮州駐在所新設

事務所	二〇平方米
車庫	一〇〇平方米
待合所	三〇平方米
出張員	宿舍二室 五〇平方米
運轉手	計 二〇〇平方米 一平方米單價五五圓
金	一一、〇〇〇圓

廻瀾橋待合所

面積	五〇平方米 一平方米單價四〇圓
金	二、〇〇〇圓
合計金	三八、〇〇〇圓

(四) 新車購入

バス	四台 單價二二、〇〇〇圓	四八、〇〇〇圓
トラツク	二台 〃 一二、〇〇〇圓	二四、〇〇〇圓
計	六台	七二、〇〇〇圓

共ニニツツシ又ハトヨク號

内從業員(從前ノ分共)

區分	員數	備考
專務員	三	
整備員	一	
修理工	三	
運轉手	一九	
車掌	一〇	
切符發賣係	二	
小使	一	
計	三九	

(七) 計畫概要

汕頭地方ニ於ケル治安ノ恢復ト共ニ漸次貨客増加ノ趨勢ニアルヲ以テ現在ノ車輛台數ヲ以テシテハ到底今後ノ需要ニ應ズルコトヲ得ズ依テ車輛ノ増加ヲ圖ルト共ニ車庫、其他ノ施設ヲ整備擴充シ以テ之等運輸交

通ヲ通シ益々日支共同輸社ノ増進ニ貢獻セントス其ノ概要左ノ如シ  
 (1) パス増車

從來パス車輛數ハ七台ナルモ最近ノ急激ナル乗客増加ニ對處スル爲左記ノ如ク四台ヲ増加スルト共ニ一部路線運行ヲ變更セントス

潮州線(四台)

現在運行台數二台(二往復)ヲ四台(四往復)トシ内二台ヲ當時潮州ニ駐車セシメ汕頭、潮州双方ヨリ午前午後各一往復セシメ卷埠、彩塘、浮洋等ノ中間乗下車客モ極力此ノ線ヲ利用セシム

卷埠線(二台)

車輛台數ハ現行二台ノ儘ニテ就業回數七一八往復ヲ六往復ニ短縮シ之ニ依ル過剩客ハ潮州線ヲ利用セシメ以テカソリシ節約ヲ行フ

彩塘線、浮洋線(各一台)

卷埠線同様現行車輛數ノ儘トシ從來長途運行ニハ不適當ナル中古車ヲ配シ一日一往復トス



豫備車(三台)

從來利用乘客數ニ比シ車數過多キ爲相當無理ナル運行ヲ餘儀無クサレ加フルニ道路隘メテ不良ナル當地ニ於テハ車輛ノ損傷甚シク爲ニ現在ノ豫備車一台ニテハ圓滑ナル運行ヲ期シ難シ依テ豫備車ヲ三台ニ増加シ以テ運行ノ正確ト圓滑ヲ計ラントス

(四)トラツク増車

現在台數七台ニテハ現狀ニ於テハ必ズシモ不潔ヲ來サザルモ今後南油地區ノ貨物ノ移動ハ益々幅曠スヘク之ニ對慮スル爲メニ台ノ増車ヲ行ハントス

(ハ)車庫擴張改造

現在使用中ノ車庫(汕頭市同益東路一四號)ハ當初公共市場跡廢屋ヲ當地車ヨリ借受ケ應急的ニ改造使用セルモノナルモ其後車輛台數ノ増加ニ依リ相當狹隘トナリ設備モ亦充分ナラス依テ之カ改造ヲ行フト共ニ更ニ隣接空地ニ増築擴張セントス

(ニ)潮州駐在所新設(附車庫、待合所、宿舍)

從來潮州ニ於テハ代理店ヲ設ケバス及トラツク營業ノ一部ヲ代行セ

シメ來リシモ今回バスヲ駐車セシムルニ付テハ是非共車庫ヲ必要トスルヲ以テ事務所、待合所、出張員宿舍等ヲ一括新設シ潮州駐在所ト爲サントス

(四)廻轉橋待合所擴張

當待合所ハ當初ヨリ甚シク狹隘ニシテバス發着時ニ混雜ヲ極メ同所檢問所ノ乘客激問ニ際シテモ相當不便ヲ感セラレ憲兵隊ヨリモ再三擴張方要請アリ依テ車庫其他諸工事ト共ニ之カ擴張工專ヲ實施セントス

乙、收 入 目 録 見

(從前分共一年分)

科	目	金 額	備 考
收入ノ部			
	バス利益	四九六一三	内譯書ノ通り
	トラツク利益	二八三〇〇	
	雜收入	五〇〇〇	空襲古物等不用品賣却代其他

科	目	金額	備考
諸	給與	三、四八四	
本	俸	八四〇	整備員(雇員一名)本俸七〇・〇〇
在	勤手当	八四〇	整備員(雇員一名)月額七〇・〇〇
事	變手当	二一六	整備員(雇員一名)本俸ノ二割五分
社	宅料	二四〇	整備員(雇員一名)月額二〇・〇〇
雑	手当	三四八	整備員(雇員一名)整備手当月二五・〇〇外
備	人給	一、六四三	修理工三名(中國人)日給一・五〇
多	イヤ	一、二〇〇	年六〇本二〇〇・〇〇
油	脂類	三〇〇	キヤイ油、ブレイ油、グリース
部	分	三、五〇〇	一年一三三・〇〇
車	輛補修費	三、五〇〇	一年一三三・〇〇
被	服費	二〇〇	作業服、其他
雑	費	三〇〇	

ハス 支出ノ部

科	目	金額	備考
運	輸收入		
卷	埠線	三、六九〇	二台(六往復)一日一〇〇・〇〇
彩	塘線	一、四六〇	一台(二往復)中間車、各一
浮	洋線	二、一九〇	一台(二往復)中間車、各一
潮	州線	一、四六〇	四台(四往復)中間車、各一
計		二、一九四〇	

ハス 収入ノ部

内	部	金額	備考
差	引損益	六、四一四	七〇〇
支	出ノ部	八、三九一	三〇〇
總	係費	一、八七六	六〇〇 内譯書ノ通り

計	雜費	事故費	被服費	車庫費	油類費	燃料費	諸手当	備人給	運輸費	計
九八八六〇	五〇〇	二〇〇	五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	七九二〇〇	三、〇〇〇	一三、四六〇		二二、九二七
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		〇〇
				汕頭、潮州車庫修理費	五〇〇 油類其他	一ヶ月三〇〇 鐵二、二〇〇	運轉手、庫掌業務手當	運轉手十名 邦人三名 月額九〇、〇〇〇 中國人七名 日給二〇〇 車掌十名 中國人 日給一〇〇 切符賣係(中國人)二名 日給二〇〇 日給(中國人)一名 日給一〇〇		
								三、二四〇、〇〇〇		

差引	支出計	車輛償却費
四九六一三	一六九七八七	四八〇〇〇
〇〇	〇〇	〇〇
		一月三、五〇〇 籽籽當二〇錢

(一) トラツク部

科	目	金額	備考
運輸	收入	一四二、八〇〇	一月平均六、七〇〇・〇〇
ト	トラツク支出ノ部		
整備	備費	一五、〇〇〇	
	タイヤノ類	一〇、〇〇〇	年五〇本 二〇〇・〇〇
	油脂ノ類	二五〇	ブレノ油 タイヤノ油
部	分	品	二七〇〇
			〇〇
			〇〇
			一月三、〇〇〇・〇〇 九台





總係費支出ノ部

科	目	金額	備考
總係費	諸給與	七二〇六	
	本俸	三〇八八	事務員補二名 雇員一名
	在勤手當	二七九六	
	專變手當	八七六	
	社宅料	九九六	
	雜手當	四五〇	休日出勤手當外
旅	旅人給	一、二六〇	一名 一〇五・〇〇
	旅費	一、二〇〇	潮州其他出張打切旅費四名
近地交通費		二〇〇	
專務所費		三〇〇〇	汕頭、潮州二ヶ所
專務用品費		六〇〇	
通信費		三〇〇	

差引	支出計	車補修費	雜費	運輸費	備人給	諸手當	燃料費	油類費	被服費	事故費	雜費	車補修費
二八三〇〇	一一四五〇〇	一、八〇〇	二五〇	六五九〇〇	九七二〇	一、六八〇	五二八〇〇	一、〇〇〇	二〇〇	三〇〇	三三六〇〇	一、八〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
					本島人運轉手九名 月額九〇・〇〇	乘務手當七名 二〇・〇〇	月二〇〇圓 二二・〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	月一合三〇〇〇・〇〇 杆杆當二〇圓	一合二〇〇・〇〇 九合



計	交際費	廣告費	雑費
一八七六六〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇

E-0641

0209

第一五 海口鐵口所事業擴張

甲、計 登 明 細

- (一) 事業名 株式會社福大公司海口出張所 (鐵工業)
- (二) 所在地 海南島海口市
- (三) 確定時期 着手 昭和十七年一月  
竣工 昭和十七年十月末
- 例投 資 額 設備費 一二四〇〇〇圓

- 從前ノ事業概況
- 運轉資金 八六〇〇〇圓
- 製造原料工場消耗品 二六〇〇〇圓
- 運轉諸費 一〇〇〇〇圓
- 人件費、事務所費、  
販賣費、通信費、修繕費等 三〇〇〇〇圓
- 機噐器具並据付費 六〇〇〇〇圓
- 建築費 六四〇〇〇圓

(五) 事業設備及設備費

計 設立費、豫備費 二〇〇〇〇圓

二一〇〇〇〇圓

種目	土 地		建 物					備 考				
	工場敷地	倉庫敷地	學務室敷地	其他	工 場	機噐工場 (動力等)	請物工場 (材料等)		仕上工場	鍛冶工場	附屬、建倉庫	計
區分	二〇	四〇	四〇	四四〇	六〇〇						一六〇	
坪數												
單價												
金額												六四〇〇〇
備 考												木造平家

E-0641



備設場工物器		具										機										種目											
計	其他設備	送風機	坩堝爐	銻銑爐	計	各種工具類	鑄物用工具	ゲージ類	ミリング用カッター	タップ、ドリル	パイプ類	計	其他各種器具	鑄物用金枠	瓦斯管線切型	定盤	チェンブロック	計	電氣熔接機	線切盤	工具研磨機	鑽孔機	平削盤	バーカレンス	ミリングマシン	面削旋盤	旋盤	工作機械	原動機	分	台數	金額	備考
		一	二	一		〃	〃	〃	〃	〃	各種			各五〇種	二	一	三ヶ	一七	一	一	二	二	一	一	一	六	一	一	一	八二一〇	〇〇	六〇馬力重油機、發電機、電動機傳導装置一式ヲ含ム	
四六〇〇	二〇〇〇	四〇〇〇	六〇〇〇	一、六〇〇	四、五六九	一、六八八	二、四六	二、四八	四、九二	八、九六	六、一五	四、六〇〇	一、八四八	三、八四	六、四〇〇	三、八四	一、三、四四	四、五、五、一〇	一、五〇〇	二、〇〇〇	一、二〇〇	二、六〇〇	一、二〇〇	一、六〇〇	七、〇〇〇	一、〇〇〇	六、六〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	備考	
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	備考	
	型込場、不型場設備等	羽根車径二〇吋 巾一時半	二	一 融用		スパン、タガネ、ポンチ、ワイヤー		メーター他	丸バネ、穴バネ、ノギス、マイクロ				八馬力二四ボルト用線切型一チヤツキパイプバイス二		五分一時一三時	長六呎 巾三呎	五融用一 三融用二		交直兩用八キロワット附屬品共	長四呎一時 巾一五吋半	巾二吋 径一九吋	自在鑽孔機、テーパー用一	巾三三吋	圓盤径一〇〇〇 径一六〇〇 巾四六〇 径一五馬力電動機付	取付寸法長一六〇〇 巾四六〇 径一四呎六吋一八呎一六呎二四呎三								備考

(丙) 従業員

合	備設場工冶録				
	送風機	木製吹子	銑鐵穴床	角金床	火爐
計	一	一	一	一	二
計	七二一〇〇	一〇〇〇	五〇〇〇	九六〇〇	五〇〇〇
		風口直徑四吋半	三〇管物	三〇管物	
		大型長三七呎 高四吋			
計	一二四〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

(乙) 生産能力及生産額(年額)

區	分能	力	職	員	數	備	價	金	額	備
區	分能	力	職	員	數	備	價	金	額	備
備	人手	五二	五	三	所長一 事務一 技術一	事務三 技術二	日本人二 機械工二 仕上工二〇 鑄物工〇 鍛工六 木工四			
計		六〇								

(甲) 事業概要

海南島ノ産業開發ニ付テハ夫々諸國ノ勢力ニ依リ開發途上ニアル  
 手機械製作工業ニ於テハ未ダ全然見ルヘキモノナリ複雑ナル機械工具  
 ノ類ヨリ鑄造鍛冶等簡單ナル農工器具ノ類ニ至ル迄之カ人手及修理ノ一切

計	脱穀機	鐵	製鑄機製作並 分品製作修理	船舶機械製作並 部分品製作修理	建築用金物他	其他各種製作修理	計
	六〇〇台	八〇〇〇					
	四〇〇台	五〇〇〇					
	七〇〇	五〇〇					
	一〇〇	〇〇					
	二八〇〇〇	三三〇〇〇	六五〇〇〇	三五〇〇〇	五〇〇〇〇	三〇〇〇〇	二〇八〇〇〇〇



本島外ニ求ムルノ外ナキ現狀ニシテ機械製作工業ハ海防島開發ノ基礎  
 ヲ成スモノト認メラルルモ當社ハ廣東市ニ車管運ノ鐵工所協同和機  
 廠ヲ經營シ内燃機、製糖諸機械、製米機、船舶用品、電氣用品、礦  
 山用機械器具等各般ノ機械工具ノ製作修理ニ諳スル經驗ヲ有スルニ  
 ミ海口市ニ諸機械製作工場ヲ起シ以テ海南島產業開發ニ寄與スル所  
 ラントシ既ニ海南島三省運務會議ノ許可ヲ得經費二十一萬圓ヲ以テ之  
 カ計畫ヲ樹立シ且下着々工運進中ニシテ昭和十七年十月頃完成ノ豫  
 定ナリ

三 設備擴張計畫

- (一) 事業名 從前ニ向シ
- (二) 所在地 全
- (三) 豫定時期

着手 昭和十七年十一月  
 竣工 昭和十八年 四月

四 所要資金

擴張改良費 一五〇〇〇〇圓  
 運轉資金 五〇〇〇〇〇圓  
 計 二〇〇〇〇〇圓

五 擴張改良工事及擴張改良費

項目	區分	坪數	單價	金額	備考
土地	工場敷地	五二〇	一〇		
	倉庫敷地	三〇	一〇		
	事務所敷地	四〇	一〇		
	宿舍敷地	四〇	一〇		
	其他	一七〇	一〇		
	計	二一〇〇		二一,〇〇〇	
建築物	工場				
	倉庫	三〇	三〇〇	九,〇〇〇	
	事務所				
	宿舍	三〇	四〇〇	一二,〇〇〇	
	其他				
	計			二九,〇〇〇	

種目	區分		台數	金額	備考
	原動機	工作機械			
機械	計	其他	1	8,500	
	計			20,000	
				4,000	
器具	チェンブロック 外二十點 計			3,500	
				5,500	
什器	金庫其他			1,500	
計				150,000	

(内) 従業員 (設備擴張分)

區分	分員	數	備考
幹部	級	2	
事務員		2	
技術員		3	
計		5	

(外) 生産能力及生産額 (年額) (設備擴張分)

區分	分能力	數量	單價	金額	備考
農具				60,000	當地狀勢ノ如何ニ依リ製造
製糖機械				80,000	積目數量ニ相當變更アルモノト豫想ス
船舶修理				50,000	
その他				45,000	
計				295,000	

(八) 計畫概要

頭初經費三、〇〇〇圓、敷地六百坪程度ノ小工場建設ヲ企圖シタルモ海南島開發ノ趨勢ニ對應スル爲工場敷地ヲ一五〇〇坪増加シ之ニ從前







帳簿	紙文具	雜品	通信運搬費	電話費	郵便費	運搬費	交際費	接待費	公務課	廣告寄附	調査費	旅費	保險料	事故費	修繕費
5000	2000	2000	1600	600	600	400	1000	1000	1600	1400	1000	7000	2000	2000	3000
												赴任旅費5000圓 普通旅費3000圓			事務所倉庫宿舍他

材料費	動力費	油類	薪炭費	消耗品類	雜品	販賣費	倉敷料	運賃	其他諸掛	事務所費	電氣水道	薪炭其他	事務用品費	備用品費	消耗品費
65000	6000	2400	5000	3000	2000	1000		500	500	900	600	300	1600	400	300
材料、礦物材料、真鍮類他、礦物用コークス 動力ハ電力又ハ普通油類モ略シ 重油機關ヲ使用トシテ重油約二噸 機油約半噸使用他 鐵治用コークス、礦物用木炭 ウエース他								製品ハ工場渡ヲ建前トス 裸渡ヲ建前トスル故繩等						机筒子其他雜品	



償却費	建物	機械器具	投資金 利子	雑費	支出計	差引 損益
1,450.00	1,450.00	1,000.00	1,000.00	500.00	2,950.00	3,250.00
	二十年償却	十年償却				

E-0641



第一六、香港營業所擴充

甲、計 劃 明 細

一、從前事業概要

- (一) 營業所名 株式會社福大公司香港出張所
- (二) 所在地 FREE NEW ORIENTAL BLDG. OFFARTHRED ROAD
- (三) 設立年月日 昭和十六年二月十九日
- (四) 投資金額 三萬圓
- (五) 事業設備 事務所其他ノ建物ハ賃借、事務用諸什器ハ若干設備セリ
- (六) 從業員 事務員 一人
- (七) 事業概要 本出張所ハ差當リ兩支地方ニ於ケル商況調査ヲ行ヒ機ヲ見テ貿易其ノ他ノ諸事業ヲ經營スル豫定ヲ以テ設置セルモ國際狀勢ノ緊迫化ニ律ビ昭和十六年九月一應閉鎖セリ此ノ間兩支商況調査ノミヲ行ヒタリ

二、擴充計畫

- (一) 營業所名 株式會社福大公司香港支店
- (二) 所在地 香港島住吉通 元セントデヨージビル四階
- (三) 豫定時期 着手 昭和十七年五月
- (四) 所要資金 運轉資金 九五、〇〇〇圓  
創業費 七五、〇〇〇圓  
計 一七〇、〇〇〇圓

創業費		科目	金額	備考
修繕費	三〇〇〇圓	事務所	一五〇〇〇	借用事務所破損箇所修理、塗漆替 其ノ他
宿舍	一五〇〇〇	借入	一五〇〇〇	借用宿舍破損箇所修理、家具購入 其ノ他
器具補充費	一〇〇〇〇	事務所内机、椅子、聯接室用ソノ其ノ他	一〇〇〇〇	
消耗品	一、〇〇〇	諸帳簿、用紙、文房具類	一、〇〇〇	
人件費	一六〇〇〇		一六〇〇〇	



職	員	人	夫	賃	旅	費	雜	費	計
	一五〇〇〇	一〇〇〇〇	一五〇〇〇	一〇〇〇〇	一五〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	七五〇〇〇	
月三〇〇〇〇圓	(一名三〇〇圓平均)	五ヶ月間							

區	分	員	職	備	考
幹	部	級	一	名	
支	配	人			
課	長	四	專	務	員
		一	六		
計		一	〇		

(四) 事務概要  
 香港ノ香積占領成ルヤ香港ハ海軍ノ要衝ニ依リ海軍管理工場ノ内七工  
 夫々管轄員ヲ派遣シ專ニ協力シ之ガ經營ノ任ニ當リツツアリテ引  
 續キ委任經營スルハ勿論將來直營又ハ日支合併經營トナルヘキヲ以テ

之立派ノ綜合設備スル機關ヲ必要トスルノミナラス各種物資ノ貿易  
 等ノ發達ヲ當然豫想セラル故テ此處ニ香港支店ヲ設置シ南方占領  
 地ノ建設ニ寄セントス

乙、支店ノ支目 總見 (一年分)

収入ノ部		支出ノ部	
目	金額	目	金額
各種物資ノ貿易收入	三五〇〇〇圓	諸給與	六八三〇八圓
内 容 明 細		本 俸	二六二八〇
		支配人	二五〇圓 一人 課長
		新員	八〇圓 一人 雇
			七〇圓 六人



加 俸	在勤手當	事變手當	家族手當	宿舍料	傭人給	常備	臨時	人夫賃	被服費	宿舍料	雜手當
	三六一〇八	一〇六二〇	一、六二〇	一三、六八〇	一四、九八〇	一〇、八〇〇	一、八〇〇	一、六〇〇	六〇〇	一八〇	三、四〇〇
	本俸二、二四〇ノ十七割	本俸二、三四〇ノ五割	十五人分一人當月九圓	一〇〇圓二人 八〇圓四人 六〇圓十人 二〇圓六人		運轉、給仕、小使 平均三圓 十人			運轉手、女給仕、小使、十人一人當年六〇圓	十人 一人當月一五圓	休日、時間外手當、宿直料月二〇〇圓平均

賞 與	販賣費	倉庫料	販賣諸費	運費	保險料	備船料	事務所費	電氣水道	薪炭其他	事務用品費
	一一四、八〇〇	一四、八〇〇	二五、〇〇〇	三、八〇〇〇	一、二〇〇〇	二五、〇〇〇	一、九六〇	七二〇	二四〇	四、八〇〇
	函事費							月六〇圓平均	月二〇圓平均	

社員十五人年十月一、六九九二圓 雇員六人八ヶ月三三六圓 僱員十人年七月三、一〇〇圓

借入金	出許	雑費	資本利子	事務所家賃	償却費	車費	保険料	雑費	雑費
3,433.34	3,226.76	3,600.00	1,020.00	3,000.00	1,500.00	2,000.00	1,000.00	4,000.00	2,000.00
				月五〇〇圓	創業費七五〇〇圓翌々年償却				

公課	接待費	運搬費	郵便費	電話費	通信運搬費	雑費	紙文具	帳簿	消耗品費	備品費
3,600.00	5,000.00	2,000.00	3,000.00	600.00	4,800.00	3,000.00	1,000.00	2,000.00	1,800.00	1,000.00
			電話料及切手代 二五〇圓平均	電話料月十圓 五合						

E-0641



合ノ活動ハ第一七 廈門外米組合投資  
前シテ之カ資金ハ廈門外米組合投資  
ニ依リタルカモシテ、甲、投資概要  
部、海關部、稅務部、警察部、衛生部、教育  
部、労働部、農林部、商工部、交通運輸部、  
建設部、及び各地方官公署ノ協力ヲ得テ、  
本組合及事業名 廈門外米組合  
廈門ニ於ケル外國産米ノ輸入及販賣  
廈門市海後路七號  
三井物産廈門出張所内

(一) 組合及事業名 廈門外米組合

(二) 所在地 廈門ニ於ケル外國産米ノ輸入及販賣  
廈門市海後路七號  
三井物産廈門出張所内

(三) 設立年月日 昭和十五年八月十五日

(四) 出資金總額 金壹百萬圓

(五) 未拂込額 右金額

(六) 福大公司投資額 金貳拾萬圓

既往投資額 ナシ

今回拂込計劃額 金貳拾萬圓

(七) 未拂込金徴收ノ方法及時期  
全額現金 昭和十七年十月

廈門輸入外米決済金ニ使用ス

(八) 事業設備 ナシ

(九) 従業員 書記一人(月収二五〇圓)  
(主タル事務ハ三井物産代行)

(十) 計畫ノ大要

本組合ハ興亞院廈門連絡部ノ指導ニ依リ當世ノ外三井物産、三菱商會、  
廈門新興洋行及宏發公司ノ五社ヲ以テ組織シ廈門一團ノ食糧外米(日  
本産米ヲ除ク)ノ輸入及販賣ヲ一元的ニ實施シ以テ配給ノ圓滑及價  
格ノ統制ヲ期セントスルモノナリ

從來ノ活動情況(昭和十五年五月—十六年八月)ハ

買付數量 泰米、蘭貢米 計二七六、六三九擔  
賣上數量 〃 〃 計一九四、五五三擔

ニシテ支那各地兵食糧米ノ手當ニ少ナカラズ苦心シ居ル際廈門ノミハ  
本組合ノ活動ニ依リ外米ノ配給充分ニシテ價格モ比較的低廉ナリ  
廈門一團ノ食糧米(支那人ノミ)ハ月平均三萬擔見當ナルヲ以テ本組  
合ノ取扱數量モ同數ト見テ差支ナカルベク今後統制ノ強化ニ伴ヒ本組







設備費

六〇、〇〇〇圓

現在鼓浪嶼側中華電氣公司ハ重油發電所ヲ以テ送電中ナルモ之ヲ改メ廈門、鼓浪嶼間ニ海底ケーブルトシテ敷設シ廈門側火力發電所ヨリ送電スル爲之カ設備費トス

計

二二一、四六九圓

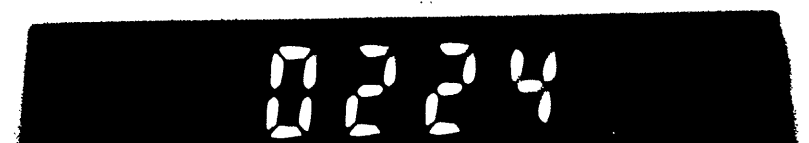
(イ) 事業設備及設備費

種目	區分	坪				價	金額	備	要
		坪	數	單	價				
土地	計	工場敷地	1	1	1	1	1	1	鼓浪嶼中華電氣公司ノ發電所敷地ハ工務局所有ノ土地ヲ借地使用シ事務所ハ借家ヲ使用シ居ルヲ以テ土地トシテノ資産ナシ
		倉庫敷地	1	1	1	1	1	1	
		事務所敷地	1	1	1	1	1	1	
		其ノ他	1	1	1	1	1	1	
		計	4	4	4	4	4	4	

種目	區分	坪	數	單	價	金額	備	要
----	----	---	---	---	---	----	---	---

種目	區分	坪				價	金額	備	要
		坪	數	單	價				
建物	計	發電所	1	1	1	1	1	1	平家建(大)一棟 平家建(小)一棟 平家建一棟
		職員宿舍	1	1	1	1	1	1	
		職工宿舍	1	1	1	1	1	1	
		貯水タンク	1	1	1	1	1	1	
		計	4	4	4	4	4	4	

種目	區分	台				價	金額	備	要
		台	數	單	價				
機械	計	重油發動機	1	1	1	1	1	1	直結交流發電機一五〇KW及 附屬電機設備一切ヲ含ム 直結交流發電機一三〇KW及 附屬電機設備ヲ含ム 直結交流發電機一〇〇KW及 附屬電機設備ヲ含ム 直結交流發電機一〇〇KW及 附屬電機設備ヲ含ム 直結交流發電機一〇〇KW及 附屬電機設備ヲ含ム
		重油發動機	1	1	1	1	1	1	
		重油發動機	1	1	1	1	1	1	
		重油發動機	1	1	1	1	1	1	
		重油發動機	1	1	1	1	1	1	
		重油發動機	1	1	1	1	1	1	
		重油發動機	1	1	1	1	1	1	
計	7	7	7	7	7	7	7		



種目	區分	台數	金額	摘要	器具 其ノ他			
					鐵屑	電氣材料	積算電力計	任上變壓器
計			四、四七四〇〇		六五二〇〇	二六、一三〇	八二、二四〇	總合五、四七、一、〇〇〇
			〇〇		〇〇	〇〇	〇〇	電線其ノ他電氣内線材料
			〇〇		〇〇	〇〇	〇〇	約三〇地

備考

摘要中附屬電氣機械設備トハ左記設備ヲ云フ

冷却設備 電動給水ポンプ八馬力一台

配電盤 高壓配電盤七面、低壓配電盤一面

塵埃空氣設備 蒸油發動機附塵埃機「ダシツ」ヲ含ム

給油設備 給油「ダシツ」一及手動ポンプ付

フレコン 容量五屯

(ロ) 新設設備

種目	區分	台數	長	單價	金額	摘要
----	----	----	---	----	----	----

配電線路	水底配電線路	三根三〇ツォルト	二〇〇〇木	一木當リ	三〇〇	六〇〇〇〇	〇〇	單價中ニハ布設費ヲ含ム
計						六〇〇〇〇	〇〇	

内従業員

區分	分員	數	摘要
事務員	備	一人	
女子	雇員	一	内地人女子
事務員	備	三	事務員一人、益用調査員二人
電工	備	三	台譯人一人、中國人二人
計		八	

(七) 供給電力(致浪與需受電力)

區分	配電々力量	單價	金額	摘要
初年度	一三五、四九三	〇、五三	九、八九一	
次年度	一四二、二七二	〇、五〇	九、九五九	初年度配電々力量ノ五分増トス



支出ノ部

科目	金額	額	内容	明細
諸給興	三三三六	〇〇		
本俸	一〇八〇	〇〇	事務員補一人(本俸ノ一五割)	女子雇員一人(本俸ノ一五割)
在勤手當	九〇〇	〇〇	事務員補一人(本俸ノ一五割)	
學費手當	三〇〇	〇〇	事務員補一人(本俸ノ一五割)	
宿舍料	五二六	〇〇	事務員補一人(本俸ノ一五割)	女子雇員一人(本俸ノ一五割)
賞與	五四〇	〇〇	上下期共三ヶ月分トシ一名分	
備人給	五七三〇	〇〇	日給四圓一名、三圓一名、一圓五十錢一名	一圓五十錢一名
常備	五五八〇	〇〇	一ヶ月重工一名ニ付五〇圓(三名分)	
被服費	一五〇	〇〇	宿直料、時間外給與、及辨當料	
雜手當	三四二	〇〇		

科目	金額	額	内容	明細
學務用品費	一一四〇	〇〇	各種設備變更ニ依リ雜器具等ニモ新式品ヲ安	
備品費	四八〇	〇〇	スルヲ以テ一ヶ月四〇圓トス	
消耗品費	六六〇	〇〇	領收證用紙三〇〇圓、微封カド一八〇圓、臺帳	用紙四〇圓、營業カド四〇圓、其ノ他一〇〇圓トス
修繕費	三六〇〇	〇〇	工作物ノ機能ヲ發揮セシムル爲一ヶ月三〇〇圓トス	
公課	一〇〇〇	〇〇	領收證印紙、祝年額四〇圓	
電力費	九八九一三	〇〇	發電原價ヲ七錢三厘トシ、波浪嶼ニ對スル送電量	ヲ一ヶ月、三五四、九七三「キロワット」時トシテ算出ス
雜費	二五〇〇	〇〇	散信所信上料及各種登記並ニ益算訴訟等ニ依ル費用	
金利	一三〇〇八六	〇〇	買收費並線路建設費ニ對スル利子年六分トス	
計	三三八三四九	〇〇		
差引利益	一六四三九	〇〇		



第一九 廈門市自來水股份有限公司投資

甲、投資概要

- (一) 本公司經營事業 上水ノ供給及附帶事業
- (二) 所在地 廈門市高江道五十二號
- (三) 資本 壹百八十萬圓也
- (四) 未拂込額 壹百九萬叁千貳百圓也
- (五) 福大公司投資額

既任投資額 壹百九萬三千二百圓也 (半額拂込)

現在未拂込額 壹百九萬三千二百圓也

今回拂込計畫額 壹百九萬三千二百圓也

(六) 未拂込金徵收ノ方法及時期

全額現金 昭和十八年十月

(七) 今回ノ拂込計畫額ノ用途

給水船「甘露」曳船兼用ポンプ船「甘泉」及水槽船貳隻共老朽船

ニシテ姑息ナル應急修繕ニテハ急修ナルヲ以テ代船ヲ建造シ之ガ  
建造費ノ一部ニ充當ス

(八) 現在使用船舶

(一) 甘露 (給水船)

種別	船名	製造	備註
汽船	甘露	立式二聯蒸氣機	製
總噸數		三六〇噸	
水槽容量		三二〇噸	
推進機種類		西萊察旋器	
ポンプ		ワットソンポンプ	

(二) 甘泉 (曳船兼用ポンプ船)

種別	船名	製造	備註
汽機	甘露	立式二聯蒸氣機	製

要

要

四 甘泉及水槽船一覽

種目	種別	台數	金額
船體	甲級	一	一九七五〇〇
捲上機	全機部	一	七五〇〇
原動機	全機部	一	三五〇〇〇
蒸氣罐	全機部	一	三五〇〇〇
大型ポンプ	全機部	一	二〇〇〇〇
小型ポンプ	全機部	一	一五〇〇〇
給水ポンプ	全機部	一	一〇〇〇〇
エヤーポンプ	全機部	一	一〇〇〇〇
發電機	全機部	一	一〇〇〇〇
其他器具	全機部	一	一四九六〇
計			三五〇〇〇〇

四 建設費

(一) 事業内容  
 既設船給水船「甘露」、船組給水船「甘泉」及水  
 槽船二隻代船新造

(二) 稼定時期  
 着手 十八年十月  
 竣工 十九年三月

(三) 所要資金  
 建設費五拾六萬五千圓

乙、投資事業計畫明細

船名	船種	容量(噸)	備
第一號	給水船 <td>一八〇</td> <td></td>	一八〇	
第二號	給水船 <td>一二六</td> <td></td>	一二六	
總噸數		二五〇噸	
ポンプ		ワオレシントンポンプ	
湧水能力		五〇此	

種目	區	分	台	數	金額
船體	甲	板		三	一六六六九〇
水櫃				一	一〇〇〇〇
原動機		部		一	一〇〇〇〇
蒸氣				一	一〇〇〇〇
ボイラー給水ポンプ				一	五〇〇〇
船給水ポンプ				一	五〇〇〇
エヤーポンプ				一	五〇〇〇
石油發動機				一	一〇〇〇〇
其他ノ器具				一	三三〇〇
計					二一五〇〇〇

田計 彙 要

現在鼓浪嶼給水ハ厦門側水船碼頭ニ於テ給水船「甘露」ニ淨水ヲ積ミ取り對岸鼓浪嶼碼頭ニ運搬シ水船内ノボンプニ依リ配水池ニ揚水シタル上鼓浪嶼市内ニ配水スルモノナリ蓋シ厦門鼓浪嶼間海底ハ突元タル岩礁ニシテ且潮流激シク將來ニ於テモ厦門鼓浪嶼間鐵管ニ依リ送水スルコトハ到底不可能ニシテ從來ノ如ク水船ノ運

絡ニ依リ送水ヲ爲ス以外ニ適當ナル方法ナシ、一方艦船給水船「甘露」ハ曳船兼用ボンプ船ニシテ水船碼頭ヨリ水櫃船ニ淨水ヲ積ミ取り「甘露」ニ依リテ曳船シ本船ニ積着ケト爲シ甘露ノボンプヲ運轉シテ給水ヲ爲スモノナリ  
然ルニ「甘露」及水櫃船ハ俱ニ一九二八年、「甘露」ハ一九三〇年ニ運送セルモノニシテ既ニ長年月ヲ經過シ船齡老朽ニシテ機件其他附屬機件ニ故障續出シ爲ニ當地寄港ノ軍艦船ニ對シ迷惑ヲ及ボスコト再三ナラズ姑息ナル緊急修理ニテハ給水作業上甚々危険ナルヲ以テ今回之ガ代船新造ヲ爲サントスルモノニシテ代船建造後ノ古船ハ當分豫備船トシテ使用シ時期ヲ見適當ニ處分ス

丙、收支目録表 (代船新造經營、一年分)

科 目	金額	内 容	明 細
船舶給水料	三〇〇〇〇〇〇	一ヶ年分	月平均 二五〇〇圓



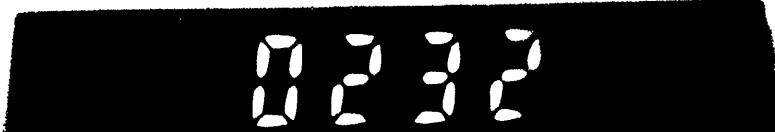
被服費	一八着分	一二〇〇
宿舍料	時間外 一ヶ年分月平均二〇〇〇 二箇〇〇〇	
薪手当	食費補助" " 八〇〇 九六〇〇	
當 興	船長被服費 二着 四〇〇〇 八〇〇〇	
	雇員 一名 本俸 三八〇〇 六ヶ月分三八〇〇	
	雇員 一名 本俸 〇〇 三箇〇〇〇	
	雇員 八名 基本給終三四〇五 六ヶ月分四四三〇〇	
燃 料 費		三三六六四〇〇
石 炭	塊炭八四〇 一箇 三五五〇	二九八二〇〇〇
消 耗 品 費	モビー油 三六樽 三三〇〇 一三六〇〇〇	二八四四〇〇〇
	ディーゼル油 三六樽 三三〇〇 一三六〇〇〇	
	石 油 二四樽 一三〇〇 二八八〇〇	
	給水用ホース 三〇〇〇〇〇	四四八〇〇〇〇
	緊船用ロープ 二〇〇〇〇〇	
	石炭、掃、ウエイス其他 四八〇〇〇	

鼓浪嶼給水料	九五〇〇〇〇	鼓浪嶼給水料 一ヶ年分 一〇八〇〇〇〇〇
内		鼓浪嶼陸上經費 一〇〇〇〇〇〇
		浄水場經費負擔 三〇〇〇〇〇
差 引	八三〇〇〇〇〇	
収入計	一二五〇〇〇〇〇	
支出ノ部		
科 目	金 額	内 容 明 細
諸 給 興	二五三三〇〇〇	
本 費	一七七一六〇〇	雇員 二名 一ヶ年分 月平均 一四三〇〇
在勤手当	四五六〇〇	雇員 一名 " " 三八〇〇
専使手当	一一〇〇〇	雇員 一名 " " 一〇〇〇
宿舍料	二四〇〇〇	雇員 一名 " " 二〇〇〇
備 人 給	一三二七二〇〇	
常 備	一〇〇八〇〇〇	備 一八名 一ヶ年分 月平均 八四〇〇〇
應 時	一三五六〇〇〇	三名 " " 一三〇〇〇



差 引 損	合 計	買 本 利 子	減 償 償 却 費	修 繕 費	雑 品
二四八三九〇〇	一四九八三九〇〇	三三九〇〇〇	五六三〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇
	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

E-0641



第二〇、廈門市全閩水產股份有限公司投資事業

甲、投資概要

- (一) 本公司經營事業 鮮魚鹽干魚卸市場經營製水並附帶事業
- (二) 所在地 廈門市龍船橋巷第二六號
- (三) 資本 金 壹百萬圓也
- (四) 未拂込額 金貳拾七萬五千圓也
- (五) 幅大公司投資額 既在投資額 金四拾萬壹千五百圓也  
現在未拂込額 金拾貳萬貳千五百圓也
- (六) 幅大公司投資額 今回拂込計畫額 金拾貳萬貳千五百圓也

丙、未拂込金徵收ノ方法及時期

現在ノ半額(五〇圓)拂込係五千五百株ニ對シ全額(壹五〇圓)ヲ塊金ヲ以テ拂込ムモノトス拂込期日ハ昭和十八年七月トス

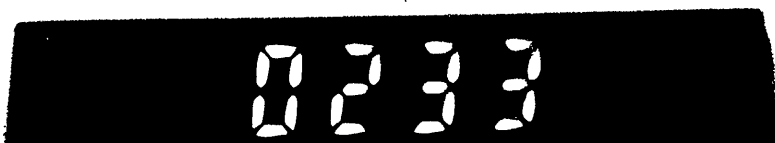
丁、今回ノ拂込計畫額ノ便途

廈門市黃成源所有ノ貳拾噸製水工場及五噸製水工場ノ買收、移轉改築費及之方運轉資金ニ充ツ

乙、投資事業計畫明細

(一) 事業內容	(二) 所在地	(三) 決定時間	(四) 所要資金
製水工場ノ買收移轉及經營	現所在地廈門市後江球五三號 貳拾噸工場	着手 昭和十八年四月	金一八、一三〇圓
同	廈門市沙波頭三六號 五噸工場	移轉 先廈門市沙坡尾	金八、五〇〇圓
		着手 昭和十八年九月	金二、六六一八〇圓
		竣工 昭和十八年九月	金八、八二〇圓
		操業 昭和十八年九月	金二、七五〇〇圓
			金一、八二〇圓
			金二、七五〇〇圓

(五) 事業設備及設備費  
(六) 貳拾噸工場買收及移轉



(1) 土地  
 現社有土地ノ一部ヲ使用スルヲ以テ土地買収費ヲ要セズ

區分	坪數	價金	額	摘要
機械室	1	5000	5000	現製水工場機械室ノ一部ヲ改造利用ス
製水室	九三坪	23350	23350	
貯水室	七一坪	28800	28800	貯水六六〇噸
準備室	四〇〇	5000	5000	現製水工場事務所ヲ使用ス
事務所				
附屬建造物	一式	5000	5000	焚縮器置場プラットフォーム
計			53050	

區分	分數	量	金	額	摘要
機械買収費	一式		59300	59300	明細書ハ別ニ示ス

營業備買收費			8000	8000	
機械修繕費			2030	2030	明細書ハ別ニ示ス
配管、ベルト類 其他不足材料代			1000	1000	
電動機附屬品共	二臺		7200	7200	七五馬力、一〇馬力各一臺
動力引込線及配線	一式		3000	3000	
電燈配線費			3000	3000	
水道敷設費			1000	1000	
取外シ樹付費			6300	6300	
基礎工事費			3750	3750	
運搬費			3500	3500	
結水槽絶縁工事	六〇坪		5000	5000	坪當七〇圓
貯水室絶縁工事	二七七坪		19300	19300	同

E-0641

0234

貯氷室冷却オイル	一式	七五〇〇	〇〇	内徑一吋四分、三〇〇〇尺
冷却水用唧筒	一臺	三五〇〇	〇〇	五吋往復動ポンプ附屬パイプ共
計		一一八〇八〇	〇〇	

(1) 土地  
 (2) 建物  
 (3) 五噸工場買収及移轉  
 現社有地ノ一部ヲ使用スルヲ以テ土地買収費ヲ要セス

區分	坪數	單價	金額	摘要
機械室	一〇坪	二五〇〇	二五〇〇	腰煉瓦木造平家
製氷室	一八坪	二五〇〇	四五〇〇	
貯氷庫二室	三一坪五	四〇〇〇	一二六〇〇	コンクリート造平家
準備室一室	五坪	二五〇〇	一二五〇〇	
事務所	一式	一〇〇〇	一〇〇〇	凝縮器置場プラットフォーム
計			二一八五〇〇	

(8) 機械

區分	數量	金額	摘要
機械買収費	一式	三三二一〇	
營業權買収費		五〇〇〇	
機械修繕費	一式	一五〇〇	發動機修繕費其他小修繕
配管基礎ボルトベルト類等不足材料		八〇〇	
取外シ据付費		五〇五〇	
基礎工事費		二一〇〇	七坪坪當三〇〇圓
運搬費		一三四〇	
結氷室絶縁工事		一四〇〇	二〇坪坪當七〇圓
貯氷庫絶縁工事		一〇三〇〇	一四七坪坪當七〇圓
貯氷庫冷却パイプ足分		二五〇〇	

E-0641



計 六三〇〇〇〇〇

内従業員

區分	員數	
夜間	一	雇員級一名
事務	一	雇員級一名
備員	一五	
計	一七	

(七)生産能力及生産額(一年額)

區分	生産力	生産額	備考
草用	三六〇〇本	九七〇〇〇	
漁船用	一六三〇〇本	五六〇〇〇	
市販用	一六二〇〇本	六四八〇〇	
計	三六〇〇〇本	一三二二〇〇〇	

(八)計量概要

現在廈門ニ於ケル製水事業ハ

經營者	公稱能力	工場所在地
全國水産公司	二〇噸	廈門市沙坡尾一〇號
黃成源	二〇噸	廈門市後江球五三號
同	五噸	廈門市沙坡尾三六號
東方製水公司	一五噸	鼓浪嶼
計	六〇噸	

ヲ有スルモ各工場共諸資材入手難ノ關係ニテ採集意ノ如クナラズ現在  
 於テハ當廠工場ヲ除ク三工場ハ作業中止ノ止ムナキ状態ナリ然ルニ  
 製水事業ハ當地ノ如ク暑熱ノ地ニ於テハ一日モ忍セニスル能ハズ需用  
 量ハ草用、漁船用及一般市販用共年々増大スルフミナルヲ以テ草用及  
 並院ノ整備モアリ不取收廈門側ニ設在スル黃成源所有ノ二工場ヲ買収  
 シ現在ノ富社工場ノ位置ニ移轉改築ヲ行ヒ以テ製水事業ノ一元化ヲ圖  
 リ綜合合理的經營ニ依リ増滑允分ナル製品ノ供給ヲ行ハントスルモノナリ

丙、收支目録見(買収工場一年分)

収入部

科目	目	金額	内容
水	代	一三、二二〇	
収入計		一三、二二〇	

支出部

科目	目	金額	内容
賃	賃	一、四四〇	雇員級事務員一名月俸四〇圓月放一、二〇圓
備	給	七三〇	備人一名日給二圓
雑	手	二〇〇	常宿直料、時間外、勤務手當、夜勤料等
賃	金	三、八〇〇	雇員一名月給六ヶ月分 備人一名日給七〇日分
近地交通費		三〇〇	市内車馬費

科目	目	金額	内容
消費品費		二〇〇	用紙類其他消耗品費
器具及修理費		二〇〇	器具及修理費
雑費		二〇〇	
小計		三、四〇〇	
製水費			
俸給及諸手當		一、七四〇	雇員級技術員一名月俸五〇圓月放一、四四〇圓
備人給		六、一三二	機部備人六名日給二圓 四、三八〇圓 製水部備人八名日給六〇圓 一、七五二圓
雑手當		一、〇〇〇	常宿直料、夜勤料、時間外、勤務手當等
賃金		一、四二八	雇員一名月俸六ヶ月分備人六名日給七〇日分 人夫八名日給六〇日分
近地交通費		三〇〇	市内車馬費
消耗品費		五〇〇	鹽化カルシウム一五圓外諸消耗品代
動力費		四〇〇	電力料



差引利益金 三三八〇圓也

建物新築費	四九〇〇圓ノ七ヶ年償却
資本	一六五〇〇
利益	一六五〇〇
合計	三三〇〇〇

原水	三〇〇〇〇	原水用水道料
アンモニア	二〇〇〇〇〇	アンモニア七五疋入二〇本代
電燈費	一〇〇〇〇〇	工場用電燈代
油脂費	一〇〇〇〇〇	アイスマシン油マシン油ギール油等
機械修繕費	五〇〇〇〇	諸機械修繕費
建物修繕費	一〇〇〇〇	諸建物修繕費
器具及修理	二〇〇〇	諸什器並備品代及之ガ修繕費
運搬費	一〇〇〇	諸資材ノ運搬費
雑費	五〇〇〇	
小計	六六四五〇	
本社費	二〇〇〇〇	本社費概算三〇〇〇〇圓ノ千分ノ二
機械償却費	一九〇〇〇	機械施設一九三二八〇圓ノ七ヶ年償却

第二一 廣東内河運管組合投資

甲、投資概要

- (一) 組合名 廣東内河運管組合
- (二) 所在地 香港市干諾道中一四
- (三) 資本金 三〇〇〇〇〇圓
- (四) 未拂込額 一、三六六五一一〇圓
- (五) 福大公司投資額 既往投資額 一、二七六、二四〇圓
- 現在未拂込額 九、七三三、七〇〇圓
- 今回拂込計畫額 三〇〇〇〇〇圓

(六) 未拂込金徵收ノ方法及時期

昭和十五年十二月廿四日ノ組合總會ノ決議ニ基キ現金出資スルモノトシ時期ハ昭和十八年八月トス

(七) 今回ノ拂込計畫額ノ使途

船舶航運事業ノ統制ヲ圖リ備船ノ不利、不便ヲ避クルガ爲小蒸汽船及舢舨購入ニ充當ス

乙、計 畫 明 細

一、從前ノ事業概況

(一) 事業内容 廣東及香港ヲ中心トスル珠江本支流及廣州灣ニ至ル船舶ニ依ル貨客運輸及之ニ附帶スル事業

(二) 事務所所在地 香港市干諾道中一四

(三) 設立年月日 昭和十四年五月三十一日

(四) 資本金 公稱資本 三〇〇〇〇〇圓

(五) 實資本(投資済額) 一、六三三、四九〇圓

(六) 事業設備

種目	區分	數量	單價	金額	備考
土	工場				
	事務所				



總計	機 械		物 物		倉 庫	碼 頭	其ノ他	建 地
	具 計	其ノ他	計	其ノ他				
二七六四三八九	二七〇五四六〇	九〇五二九一	一六八三八〇二	五八九二九	三一八〇五		二七一二四	本店、支店、出張所、在所、
		燃料、船具、豫備品	一一六三六七		北街、九江、太平			

備考

汽 船 船 内 譯

區 分	所 有 船 隻 數	汽 船		機 械 船		合 計
		隻 數	噸 數	隻 數	噸 數	
汽 船	二六	二二	三一	二〇	一、四七二	四六
機 械 船						三、七〇三

備 下 船	計	備 船	計	備 船	計
五二四	五、一九八	二四四	三	二、四二九	七〇
四	二、四四三	一七	七	二、八七二	七三六七

内 從 業 員

區 分	幹 部 級 別	社 員	船 員	下 級 船 員	備 員	計	日 本 人	華 人	合 計
一	一五	二四	一、一九〇	四九	一、四四一				

(七) 專業 實 績 (最近一ヶ年分)

區 分	分 數	量 單 位	金 額	備 考
輸 送 船 客 數	七八二四九一	人	一、六二九、七〇六〇	

E-0641



輸送貨物數	噸	二八二、九九一	七二
曳船隻數	隻	二九九、五二四	〇六
船隻數	隻	四七八、四四二	五四
合計		五二三〇、一二八	九二

(八) 事業概要

(1) 創立

廣東ヲ中心トスル珠江本支流ニ亘ル航運事業ノ統制ヲ目的トシ昭和十四年五月三十一日創立セラレ

(2) 組織

組合組織ニシテ法人格ヲ有セス組合員(出資者)ハ大阪商船、日本郵船、日清汽船、三井、三菱、福大、廣東航運同業組合(日本運送商社ノ組合)ノ七社ナリ

(3) 店舗

大東亞戰ニ基ク香港陥落ニ伴ヒ本社ヲ廣東ヨリ香港ニ移セリ  
 本社 香港  
 支店 廣東、澳門

出張所 佛山、江門、北街、石岐  
 駐在所 瀾石、新州、新塘、東莞、太平、小欖、太良、白礁、九江、斗門、古井

(二) 航路

香港ヲ基點トスルモノ 六線

廣東、澳門、廣州灣、江門、太平、市橋

廣東ヲ基點トスルモノ 十一線

澳門、佛山、瀾石、大石、新造、新塘、市橋、太平、太良、小欖

江門

江門ヲ基點トスルモノ 六線

石岐、九江、斗門、古井、白礁、潮連

地方間

太平、高嶺沙、太平、寶安、小欖、石岐

(三) 經緯

昭和十四年五月三十一日創立  
 白銀丸ヲ以テ廣東、澳門航路開始シ引續キ廣東、



香港航路ヲモ開始ス  
 一五、一六 海剛丸ヲ以テ廣東、江門航路開始ス  
 一五、二一 福大公司船舶部ヲ合流並日本人船舶商社ヲ合併シ  
 純内河十五航路ヲ繼承ス。爾來船舶、碼頭ノ増強  
 ニ努ム  
 一五、一、一 從來ノ營業員制度ヲ廢シ駐在所十二ヶ所ヲ設置ス  
 一七、三、一 香港陥落ノ結果本店ヲ廣東ヨリ香港ニ移ス  
 一七、二、九 以後香港ヲ基點トシ廣州灣、江門、市橋、太平ノ  
 諸航路ヲ經營ス

三、事業擴張計畫

(一) 豫定時期

着手 昭和十八年七月  
 操業 昭和十八年八月

(二) 所要資金

船舶購入費 三〇〇〇〇〇圓

(三) 購入船舶

區分	隻數	單價	價金	額
汽船	五	三〇〇〇〇	一五〇〇〇〇	華人新造小型船中優秀ナルモノ
發動機船	二	二五〇〇〇	五〇〇〇〇	〃
合計	七		二〇〇〇〇〇	現在備船並優秀船

(四) 計畫概要

現在本組合ニ於ケル備船料支出額ハ年額凡ソ八〇〇〇〇〇圓ニ達シ、且備船ナルカ爲メ實際使用上不利不便尠カラザルモノアルニ鑑ミ華人側新造船ニシテ未ダ航行許可證ノ交付ナキ小型船ヲ購入シ以テ之カ障得ヲ除去スルト共ニ組合本來ノ目的タル航運事業統制ノ全キヲ期セン

丙、收支目論見 (従前分共一年)



營業收入 五五〇〇〇〇

收入之部

科目	金額	種目	金額	附記
一、營業收入	五五四〇〇〇〇	船客賃	一八〇〇〇〇〇	月一五〇〇〇〇〇圓
		荷物賃	三〇〇〇〇〇〇	月二五〇〇〇〇〇圓
		曳船料	二四〇〇〇〇〇	月二〇〇〇〇〇圓
		賃船料	四五〇〇〇〇〇	月平均船一五〇圓 一雙二五〇圓 月三七五〇圓
二、補助金	三〇〇〇〇	雜收入	五〇〇〇〇	
		遞信補助金	三〇〇〇〇	内航東莞及三水航路指定ナル
三、雜收入	六六〇〇〇	利子	一〇〇〇〇	
		保險料	五〇〇〇〇	
		郵船航送料	一〇〇〇〇	
		雜入	五〇〇〇	
合計	五六三六〇〇〇			

支出之部

科目	金額	種目	金額	附記
事務所費	七九六〇〇〇	諸給與	四〇八〇〇〇	一七〇人一人平均月二〇〇圓 月三四〇〇〇圓
		需用費	二四〇〇〇〇	家賃、物品費、通信交通費、 燃料其ノ他月二〇〇〇〇圓
		修理費	一一〇〇〇	家屋、倉庫、物品等月一〇〇〇圓
		公謀其ノ他	五〇〇〇〇	民船公所、碼頭稅
		招待費	三五〇〇〇〇	
船費	三八七六〇〇〇	船員諸給與	七八〇〇〇〇	一三〇〇人一人月平均五〇圓 月六五〇〇〇圓
		燃料	三六八八〇〇〇	石炭月三八〇〇〇圓、屯、屯五〇圓、 屯、屯七〇〇〇圓、重油月一〇〇〇圓、 屯、屯四〇〇〇圓、八四〇〇〇圓
		修理費	一八四〇〇〇	船八〇〇艘一雙年二〇〇圓、 延一六〇〇〇圓延二四〇〇〇圓、 延三〇〇〇圓延二四〇〇〇圓

E-0641



雜費	五,000.00	雜費	五,000.00	
消却費	二〇六,000.00	船價消却	二〇〇,000.00	船價 年賦 總額六〇〇,〇〇〇.〇〇圓ノ一〇年賦
保險費	一六,000.00	船舶保險	一六,000.00	船價 月五,〇〇〇.〇〇圓ノ八%
遭難補償費	六,000.00	遭難補償費	六,000.00	月五,〇〇〇.〇〇圓
碼頭費	六,000.00	補強造修費	六,000.00	月五,〇〇〇.〇〇圓
荷客費	一四四,000.00	荷客補償費	二四,000.00	月二,〇〇〇.〇〇圓
		蒐貫費	一三,000.00	月一,〇〇〇.〇〇圓
		雜費	二四,000.00	月二,〇〇〇.〇〇圓
		需要費	二〇,〇〇〇.00	船八〇〇〇圓 一〇〇〇圓 一〇〇〇圓 一〇〇〇圓 一〇〇〇圓 一〇〇〇圓 一〇〇〇圓 一〇〇〇圓 一〇〇〇圓 一〇〇〇圓
合計	五三三,〇〇〇.00			

差引利益金 二八四,〇〇〇.〇〇圓

丁 拂込決議書寫

第三期決算報告總會議事録

時 日 昭和十五年十二月二十四日 午後三時

場 所 愛群家第九十一階

出席者 海軍特務部 青山少佐 殿

興 亞 院 吉 行 調 査 官 殿 八 木 彌 託 殿

富 野 大 三 山 大 島 各 常 務 理 事

長谷川理事 細井氏 (三井森理事代理)

小出 理 專 齋 藤 氏 (三菱今城監事代理)

記

濱 田 氏 (丸二組)

第三期營業報告書ニ基キ富野常務理事ヨリ詳細ニ亙ツテ説明アリ

一 財務日録、貸借対照表、損益計算書ヲ承認

二 今期利益金賦分案ヲ賦決

三 東亞海運株式會社組合參加ノ件

東亞海運株式會社ノ高野組合參加ハ三省連絡會議ノ御方針ニ基キ當組  
合成立當初ヨリ内定シ海野タルモ今日迄其ノ機ヲ待ザリシカ今度組  
合員トシテ參加承認シ度キ提案アリ何レ出資額其ノ他ノ詳細ナル間  
題ハ後日ニ譲ルトシテ是當リ參加ヲ承認スルコトニ可決

四 出資金拂込ノ件

豫而東亞院ニ申請中ノ資金金六五三、〇〇〇圓ヲ内地ヨリ送金スル  
コトニ御承認ヲ得タルヲ以テ

- 一 日本郵船株式會社 八八、一三二圓五〇
  - 一 三井物産株式會社 八八、一一〇圓〇〇
  - 一 三菱商事株式會社 八八、一一〇圓〇〇
  - 一 日清汽船株式會社 八八、一一〇圓〇〇
- ノ拂込提案アリ可決ス

尙東亞海運株式會社ニハ豫テ海剛丸買收出資ノ外ニ現金參拾萬圓ノ  
出資方後浪中ナリシカ是當リ海剛丸兩昭丸兩和丸ノ三隻ヲ同社ニテ  
買收シ當組合ニ現物出資スルカ或ハ貸船方依頼スル丈ケニシ現金參  
拾萬圓ハ福大公司ニ出資ヲ依頼スルコト

右拂込期日ハ昭和十六年一月三十一日迄トシ且ツ東京ニ於ケル拂込  
先並ニ送金方法ニ付テハ追而決定次第御通知申上グルコト

尙富野常務理事ヨリ當組合今後ノ希望計畫トシテ左ノ如ク説明アリ  
タリ

將來ノ見通シハ皇軍ノ威力ニ依リ治安益々確立サレツツアルヲ以テ  
當組合ノ事業モ漸次好轉スベク從ツテ船腹ノ増加ニ最善ノ努力ヲ拂  
フベキハ勿論其他倉庫棧橋等ノ陸上設備ニモ追次手ヲ延バシテ益々  
組合ノ基礎確立ヲ計リ度シ云々

以 上

第一二、上海木炭聯合會投資

甲、投資概要

(一) 組合名及事業内容

上海木炭聯合會  
 上海ニ於ケル木炭ノ輸移入並ニ販賣ノ統制

(二) 所在地

上海紀子路四九〇號吉原ビル内

(三) 設立年月日

昭和十七年五月

(四) 資本金總額

金壹百五十萬圓

(五) 未拂込額

石金額

(六) 擴大投資額

金拾萬圓

即在投資額

今回拂込計畫額 拾萬圓

(七) 未拂込金徵收ノ方法及時期

昭和十八年三月全額現金出資

(八) 事業設備及設備費



(九) 事務所設備

内譯

一八三三〇圓

品目	数量	單價(圓)	金額(圓)
自動車	一	七〇〇〇	七〇〇〇
包車	二	五〇〇	一〇〇〇
目録	五	二五〇	一、二五〇
金庫	一	一〇〇〇	一〇〇〇
邦文タイプ	二	二〇〇	四〇〇
書類箱	二	三〇〇	六〇〇
礼椅子	三	五〇〇	一、五〇〇
屋内裝飾	一	一、五〇〇	一、五〇〇
計			一八、三三〇

(十) 倉庫設備

三〇〇〇圓

地均、竹垣、貯灰場、換灰設備、アミト梯子、シヨベル、龍

(四) 計畫ノ大要

本組合ハ興亞院華中連絡部ノ指示及資金ヲ依シ、上海日本總領事館、





交	稅	廣	保	償		創	雜	支	差
際	金	告	險	却	事	立	用	引	引
費	引	寄	費	費	務	發	計	益	金
	當	附	料	備	所	備		金	
				備	設				
				備	備				
九六〇〇	四六五	三四〇〇	三〇〇〇	一七八七五	七八七五	一〇〇〇〇	六〇〇〇	一八〇九四〇	
	自包自 轉動 車車 五二一								
	二〇四								
	五〇〇								
	圓								

E-0641

0248

第二三、借入金ノ返済

資本増加内認可申請書別記ノ「資本増加目的事業概要」ニ記載ノ通り  
付省略ス



E-0641

0249

22

昭和拾七年六月拾日

海軍艦政本部長

「アバーデン」造船所經營ニ關シ  
株式會社福大公司社長ニ示達

一、海軍ニ於テ「アバーデン」造船所施設管理中差當リ現地海軍  
 推薦ニ依ル株式會社福大公司ヲシテ之ガ委託經營ニ當ラシム  
 二、經營ニ關シテハ海軍ノ監督指導ヲ受クルモノトシテ現地ニ於ケ  
 ル直接ノ監督指導ヲ第二工作部長ヲシテ實施セシム  
 三、當面ノ經營ノ目的ハ速ニ「アバーデン」造船所施設ヲ復舊シ  
 陸海軍ノ作戰ニ必要ナル艦船兵器ノ修理ヲ行ヒ又餘力ヲ以テ  
 海軍ノ承認ヲ受ケ部外船舶機械器具等ノ造修其ノ他一般鐵工  
 業ヲ行フニ在ルモノトシ之ニ對應シ得ル如ク諸施設ヲ整備ス  
 ルモノトス

四、委託經營中ハ使用料ヲ徴セザルモ復興ニ要スル經費並ニ經營  
 上ノ損失ハ海軍ニ於テ補償セズ  
 但シ經營上爲シ得ル限りノ援助ヲ與フルコトトス

五、株式會社福大公司ハ速ニ現地調査ノ上財産目錄ヲ提出シ且復  
 興計畫ヲ樹立シ第二工作部長ヲ經テ海軍省ノ承認ヲ受クルヲ  
 要ス

六、戰爭後ノ處理ニ關シテハ政府ノ方針ニ基キ別途研究ノ上決定  
 ノコトニ取計ハルヘキモ民間會社ヲシテ其ノ經營ニ參與セシ  
 ムル場合ハ其ノ實績等ヲ考慮シ更メテ措置スルモノトス

七、注意事項  
 第五號ニ關シテハ物資及資金ノ放出ヲ伴フヲ以テ大藏省ニ關  
 係多キニ付適當ノ説明資料ヲ準備スルヲ要ス

(終)



一

機務第二遣支艦隊命令第一一號

昭和十七年三月十八日 香港旗艦 五十鈴

第二遣支艦隊司令長官 新見 政 一

水野第二海軍工作部長ニ命令

貴官ハ左記工場ヲ管理シ之ヲ福大公司ニ依託經營セシムベシ

記

一 同太機械工場及新設北角造船所

二 香港海軍自動車修理工場

三 敬記船廠

四 香港製釘工場

五 國光塗具工場及國民塗具工場

六 燦華公司無線電工廠

(終)

六一

香港商第九九號

香港製釘國民ペイント及國光ペイントノ

三工場經營ニ關スル件通牒

昭和十七年七月十八日

香港占領地總督部參謀長 有 末 次

株式會社 福大公司

小 出 三 郎 殿

香港占領地總督部管理香港製釘、國民ペイント及國光ペイントノ三工場經營ヲ株式會社福大公司ニ委託ス

追而詳細ハ別途指示スルモ不取敢左記ノ通心得ベシ

記

一、現存設備ノ資産評價ヲ至急實施シ新投資トノ限界ヲ明確ナラシムルコト

二、速ニ事業計畫書ヲ提出スルコト

三、事業運營上必要トスル重要資材ヲ調査報告スルコト共ニ原料獲得ノ處置ヲ購ズルコト

四、作業日誌報ヲ民治部長宛提出スルコト

五、其ノ他ハ民治部長ノ指示ニ從フコト

三

船造第六七三號

船舶製造許可書

廣島縣沼隈郡千年村

造船所名 常石造船株式會社

一 註文者 株式會社 福大公司

二 計畫噸數 二〇〇噸(重) 三二〇噸

三 製造番號 第一三號船

四 船臺番號 第一號船臺

五 機關製造所 手持品使用

其ノ造船所ニ於テ昭和十七年七月六日附申請ニ係ル右船舶ノ製造ノ件許可ス但シ資金調整法ノ許可ヲ受クベシ

昭和十七年八月一日

神戸海務局長

右原本ト相違ナキコトヲ證明ス

常石造船株式會社

E-0641

0253

②

報 電

五四四トウケウイウビ

三四 カイコウ八八ヒ一ニ コニ、三〇

マルノウチ

シヨウワビ ル六カイ

フクダ イコウシ

サダ センムトリシマリヤク

エイギ ヨキヨカ 九ガ ツ九ヒツケニテリヨシカン

ヨリアリタ ホリ

コセ、四二

E-0641

0254

一六

香港總許第四號

住所 香港藍塘道三三號

氏名 株式會社 福大公司

香港出張所長 小出三郎

田松

昭和十七年四月十日附願其人社管區内ニ於テ營業ノ件許  
可ス

昭和十七年五月十六日

香港占領地總督 磯谷廉介 印

E-0641

0255



各店別金融勘定一覽表

昭和17年7月31日現在

株式會社福大公司

	受取手形		預 金		現 金		合 計	
	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数
東京支店	-	-	204,222	20	216,000	-	204,438	20
台北店	293,614	47	173,441	84	2,322,080	-	469,378	39
廈門支店	-	-	422,037	29	5,429,880	-	427,467	17
廣東支店	296,011	66	192,011	33	851,610	-	488,874	60
汕頭出張所	-	-	190,459	75	1,424,720	-	191,884	47
上海出張所	-	-	344,653	52	352,700	-	346,008	22
合 計	589,626	13	1,526,825	93	10,698,990	-	2,127,051	05

	支拂手形		當座借越金		借 入 金		合 計	
	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数
東京支店	355,000	00	35,317	55	-	-	390,317	55
台北店	531,681	22	-	-	-	-	531,681	22
廈門支店	1,057	50	16,793	82	185,147	35	202,998	67
廣東支店	-	-	61,347	77	-	-	61,347	77
汕頭出張所	-	-	-	-	-	-	-	-
上海出張所	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	887,738	72	113,459	14	185,147	35	1,186,345	21

貸借對照表

昭和17年5月31日現在

株式會社福大公司

資 産 之 部		負 債 之 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
土地及建物	29,837.82	身元保證金	87,209.13
所有物什器	32,361.11	預リ保證金	155,920.25
機械工具	11,000.64	未拂金	119,173.78
船 舶	168,240.05	買掛金	211,445.31
自動車	137,004.02	支拂手形	1,024,079.75
未成工事費	97,496.49	當座借越金	75,379.07
商 品	1,483,873.86	借入金	219,406.61
貯 蔵 品	464,130.78	假受金	246,495.32
製品在高	28,641.69	資本金	6,000,000.00
仕掛品在高	140,027.30	法定準備金	55,000.00
有價證券	1,228,737.57	職員退職給與積立金	50,000.00
投資及融資金	421,032.63	税金引當金	100,000.00
保證金	660,736.03	未拂配當金	238,694.69
受取手形	551,500.34	前期繰越金	12,689.93
未收金	32,389.50	當期利益金	255,841.77
買掛金	420,860.07		
預 金	2,179,294.20		
現 金	20,931.32		
假 拂 金	743,240.19		
合 計	8,851,335.61	合 計	8,851,335.61

備考 前回提出の貸借對照表中土地及建物が33,342.21、所有物什器が28,856.02に修正  
 修正後所有物什器が33,505.09に土地及建物=繰入449.07に修正

貸借對照表

昭和17年5月31日現在

臺北本社

資 産 之 部		負 債 之 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
所有物什器	12,701.10	買掛金	110,658.90
船 舶	60,248.68	支拂手形	596,736.83
商 品	254,442.79	未 拂 金	583.52
賣掛金	53,692.94	身元保證金	27,047.13
未收金	21,488.68	假受金	93.08
受取手形	268,505.32	預り保證金	5,000.00
有價證券	44.50	資本金	6,000,000.00
預 金	375,757.12	法定準備金	55,000.00
現 金	2,411.48	職員退職給與積立金	50,000.00
本社勘定	5,776,361.53	税金引當金	100,000.00
假拂金	100,243.68	前期繰越金	12,689.93
保 證 金	60,177.29	當期利益金	28,265.72
合 計	6,986,075.11	合 計	6,986,075.11

貸借對照表

昭和17年5月31日現在

福大公司東京支店

資 産 之 部		負 債 之 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
所有物什器	3,505.09	未拂配當金	238,694.69
有價證券	1,220,719.07	身元保證金	2,199.53
投資及融資金	416,410.35	預り保證金	100,000.00
假 拂 金	86,694.09	假 受 金	21,337.37
預 金	453,221.78	未 拂 金	200.00
現 金	5,132.67	支拂手形	355,000.00
本支店勘定		本支店勘定	
廣東支店	1,864,116.92	台北店	5,776,361.53
廈門支店	1,619,112.34		
汕頭出張所	386,890.31		
上海出張所	379,198.39		
當期欠損金	58,002.11		
合 計	6,493,793.12	合 計	6,493,793.12

E-0641

0257

貸借対照表

昭和17年5月31日現在

厦門支店

資産之部		負債之部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
所有物什器	2,226.86	本社勘定	2,212,112.54
土地及建物	11,117.25	買掛金	17,425.70
船舶	107,891.47	未拂金	65,100.08
機械工具	1,604.72	身元保証金	1,282.22
自動車	6,101.58	當座借越金	75,377.07
貯蔵品	48,284.11	借入金	2,126.61
商品	625,573.40	假受金	7,026.82
賣掛金	125,106.48	預り保証金	45,920.25
投資及融資金	4,622.28	當期利益金	39,854.07
預金	226,882.70		
現金	2,491.47		
假拂金	229,121.14		
保証金	442,730.00		
合計	2,095,877.47	合計	2,095,877.47

貸借対照表

昭和17年5月31日現在

廣東支店

資産之部		負債之部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
土地及建物	16,636.37	身元保証金	41,891.99
自動車	102,964.59	預り保証金	12,000.00
機械工具	8,074.38	未拂金	44,761.02
所有物什器	8,836.75	買掛金	5,117.90
未成工事費	97,496.49	支拂手形	72,342.92
貯蔵品	395,955.99	假拂金	142,633.02
商品	309,848.42	本社勘定	1,864,116.92
製品在高	28,641.69	當期利益金	172,110.95
仕掛品在高	140,027.30		
有價証券	7,974.00		
保証金	30,966.70		
受取手形	282,995.02		
未收金	7,020.42		
賣掛金	201,664.19		
預金	471,579.99		
現金	1,861.92		
假拂金	244,610.54		
合計	2,355,954.92	合計	2,355,954.92

貸借対照表

昭和17年5月31日

油嶺出張所

資産之部		負債之部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
土地及建物	4,084.00	買掛金	72,222.41
自動車	22,147.87	未拂金	8,202.07
機械器具	1,421.54	身元保証金	2,148.47
所有物什器	971.88	假受金	14,864.25
貯蔵品	2,829.68	当期利益金	42,872.80
商標品	14,410.74	本社勘定	442,890.41
賣掛金	40,498.45		
未收金	3,820.60		
預現金	1,805.72		
現現金	1,876.75		
假拂金	40,206.74		
保証金	1,181.57		
合計	522,110.21	合計	522,110.21

貸借対照表

昭和17年5月31日

上海出張所

資産之部		負債之部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
所有物什器	4,119.32	身元保証金	2,187.77
商品	99,901.78	假受金	21,501.78
預現金	3,244.41	未拂金	126.88
現現金	56.82	当期利益金	49,849.14
假拂金	42,270.00	本社勘定	477,928.49
保証金	12,702.62		
合計	421,225.22	合計	421,225.22

自 年 月 日  
至 年 月 日

本邦会社関係雑件  
台湾ニ於ケル会社現況  
概要

第 一 卷

外務省  
記録  
自 年 月 日  
至 年 月 日

本邦会社関係雑件  
台湾ニ於ケル会社現況  
概要

第 一

門類項目号

E
2
2
1
3-22

E-0641

0260